

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 研創

コード番号 7939 URL <http://www.kensoh.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 林 良一

(氏名) 浦上 忠久

TEL 082-840-1000

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		(%表示は、対前年同四半期増減率)
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
27年3月期第1四半期	989	11.6	8	46.7	1	—	1	—	
26年3月期第1四半期	886	5.6	6	106.4	△1	—	△1	—	
		1株当たり四半期純利益				潜在株式調整後1株当たり四半期純利益			
		円 銭		円 銭		円 銭		円 銭	
27年3月期第1四半期			0.36			—			
26年3月期第1四半期			△0.26			—			

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
27年3月期第1四半期	5,096		1,389		27.3	
26年3月期	5,468		1,440		26.3	

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 1,389百万円 26年3月期 1,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年3月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	1,940	△1.1	△14	—	△28	—	△16	—	△4.04	
通期	4,761	1.2	330	△19.8	301	△20.3	180	△32.2	45.40	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### ※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	4,022,774 株	26年3月期	4,022,774 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	58,195 株	26年3月期	27,295 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	3,980,029 株	26年3月期1Q	3,996,003 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）における国内経済は、企業業績の好転や雇用情勢の改善が顕著となり、全体的に緩やかな景気回復基調となりました。

また、当社を取り巻く業界動向は、懸念されていた消費税増税による影響は限定的であり、当社業績に影響のある建築投資動向も堅調に推移いたしました。

このような経済状況のもと当社は、今年度の重点推進課題として以下の項目を掲げ、全社一丸となって課題解決に向けた取り組みを推進いたしました。

- ①信用拡大の根幹をなす「品質向上活動」の推進
- ②生産能力の整備・拡充
- ③顧客ニーズに根差した「新製品開発及び製品改良活動」の推進
- ④「常に学び 研究し 創造する」人材育成

こうした取り組みの結果、当第1四半期累計期間の売上高は9億89百万円（前年同期比11.6%増）となり、営業利益は8百万円（前年同期比46.7%増）、経常利益は1百万円（前年同期は1百万円の損失）、四半期純利益は1百万円（前年同期は1百万円の損失）となりました。

なお、当社は、需要が下半期に偏る傾向がありますが、景気回復を背景とした建築需要の拡大に牽引され、当第1四半期累計期間における営業利益、経常利益、四半期純利益はそれぞれ過去最高の数値を達成いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は17億82百万円となり、前事業年度末に比べ3億72百万円減少いたしました。これは主に売上債権が3億73百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては33億14百万円と、前事業年度末に比べ0百万円の減少であります。

この結果、総資産は50億96百万円となり、前事業年度末に比べ3億72百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は21億58百万円となり、前事業年度末に比べ3億12百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1億83百万円、仕入債務が88百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は15億48百万円となり、前事業年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が11百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は37億6百万円となり、前事業年度末に比べ3億22百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は13億89百万円となり、前事業年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは主に剰余金の配当47百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は27.3%（前事業年度末は26.3%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表しました「平成26年3月期決算短信」から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### 3. 四半期財務諸表

#### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	197,757	214,333
受取手形及び売掛金	1,596,348	1,190,377
電子記録債権	79,619	112,413
商品及び製品	47,330	45,905
仕掛品	51,839	35,788
原材料及び貯蔵品	108,406	115,934
その他	79,426	72,672
貸倒引当金	△6,243	△5,402
<b>流動資産合計</b>	<b>2,154,485</b>	<b>1,782,023</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物（純額）	764,913	756,528
土地	1,422,080	1,422,080
その他（純額）	339,089	323,512
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,526,083</b>	<b>2,502,121</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>25,200</b>	<b>33,059</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	63,974	70,875
投資不動産（純額）	430,276	427,746
その他	275,836	287,459
貸倒引当金	△6,957	△6,866
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>763,130</b>	<b>779,214</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>3,314,414</b>	<b>3,314,394</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,468,899</b>	<b>5,096,417</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,086,104	997,216
短期借入金	1,050,138	867,051
未払法人税等	69,855	5,660
賞与引当金	67,074	114,953
その他	197,395	173,594
流動負債合計	2,470,568	2,158,476
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,137,064	1,125,875
退職給付引当金	106,948	108,170
役員退職慰労引当金	297,720	297,720
資産除去債務	1,518	1,523
その他	15,000	15,000
固定負債合計	1,558,250	1,548,289
<b>負債合計</b>	<b>4,028,818</b>	<b>3,706,765</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	664,740	664,740
資本剰余金	264,930	264,930
利益剰余金	513,629	467,120
自己株式	△8,648	△16,960
株主資本合計	1,434,651	1,379,831
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	5,429	9,821
評価・換算差額等合計	5,429	9,821
<b>純資産合計</b>	<b>1,440,081</b>	<b>1,389,652</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,468,899</b>	<b>5,096,417</b>

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	886,261	989,455
売上原価	591,774	678,695
売上総利益	294,487	310,759
販売費及び一般管理費	288,451	301,906
営業利益	6,036	8,853
営業外収益		
受取利息	682	601
受取配当金	2,252	977
受取地代家賃	6,767	5,467
貸倒引当金戻入額	—	932
その他	610	649
営業外収益合計	10,312	8,628
営業外費用		
支払利息	9,257	7,173
債権保全利息	3,604	3,576
不動産賃貸費用	4,137	4,074
その他	664	658
営業外費用合計	17,663	15,483
経常利益又は経常損失（△）	△1,314	1,997
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△1,314	1,997
法人税、住民税及び事業税	1,428	3,903
法人税等調整額	△1,714	△3,342
法人税等合計	△285	560
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,028	1,437

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は平成26年5月19日開催の取締役会における自己株式の取得に関する決議に基づき、自己株式30,900株の取得を行いました。この結果、第1四半期累計期間において自己株式が8百万円増加し、当第1四半期会計期間末において自己株式が16百万円となっております。